

受領 令和6年5月30日 11時41分

通告番号(14)

令和6年5月30日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
仲 眞 朝 雄 印

一般質問通告書

第535回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 衰退する社会教育団体について PTAが解散した学校の正確な数については確認できないものの最近の情勢をみると、全国でPTAの解散を検討している学校は増えている傾向にあるとのこと。 (1) シミュレーションとして、本村のPTAが解散あるいは大きく活動が変化した場合、児童、保護者、学校、地域にどのような影響があると予測するか (2) 社会教育団体役員のなり手不足、会員の減少についての見解を求める。 (3) 当局は社会教育団体への指導的役割をどう果たしていくのか見解を求める。	
2 第534回臨時議会で読谷村健康増進センター指定管理者に、リンクワークス・沖縄ダイケン共同事業体が決定した。リンクワークスは健康維持増進プール運営、沖縄ダイケンは施設の維持管理のリーディングカンパニーであり、村民の利便性向上、積極的事業経営を期待する。 (1) 第530回議会で否決された業者に決定した形だが、再募集にあたり指定管理者募集要項の変更点とその意図を問う。 (2) 事業計画では、現雇用者の継続雇用、地元の雇用を優先するとある。18名のスタッフ中、13名はパートとされるが、村民雇用者のキャリアアップの可能性についてどのように考えるかどうか問う	